



取扱注意

住宅太陽光発電モニター
(SolarPower-4.95-MT04)

取扱説明書

2025年3月

アディンクス株式会社

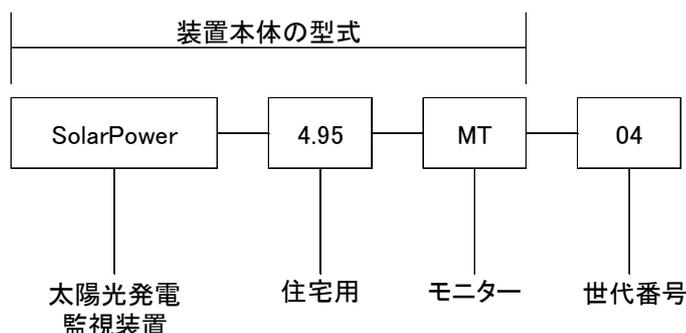
目 次

| | | |
|------|-----------------|--------|
| 1 | 概要 | - 3 - |
| 2 | 技術仕様 | - 4 - |
| 3 | 本装置の外観とインターフェイス | - 6 - |
| 3.1 | 外観イメージ | - 6 - |
| 3.2 | 寸法と外部インターフェイス | - 7 - |
| 4 | 標準付属品 | - 8 - |
| 5 | 品質保証 | - 9 - |
| 付録 1 | 本装置の壁掛取付方法 | - 10 - |
| 付録 2 | 本装置とパソコンの接続方法 | - 12 - |
| 付録 3 | 本装置のアプリ更新について | - 14 - |

1 概要

本書では、当社の住宅太陽光発電用モニター装置「SolarPower-4.95-MT04」（以降は本装置と称す）のハードウェア仕様および取扱方法について、説明します。

型式表示方法



本装置は家庭や商業施設の太陽光発電、蓄電システムの稼働状態やエネルギー使用状態を見える化し、管理対象設備の運転モードやパラメーターの設定を容易にするための装置です。屋内使用の仕様になっています。

本装置はイーサネット通信でパソコン（PC）、蓄電池（バッテリー）の発電、充放電および電力会社との売電・買電電力量データを自動的に収集し、液晶タッチパネル画面に表示させます。各種データは本装置に最低2年間保存されます。本装置と管理対象機器間の通信プロトコルは、Modbus TCPを標準としていますが、ECHONET Lite や対象機器メーカーの独自通信プロトコルについてもカスタマイズ開発で対応できます。また、カスタマイズ開発のオプション機能として、本装置はセキュリティが確保されたインターネット通信で上位システム（エネルギー集中管理システム等）と連携し、データ配信、パソコン出力制御、蓄電池充放電制御等の要件にも対応できます。

本装置に8インチの液晶タッチパネル画面があります。収集された各種データをリアルタイムにグラフや表形式で表示し、保存されている過去データも表示できます。画面表示と操作の仕様は「住宅太陽光発電モニター画面表示操作仕様書」に記載しております。

対応できる対象機器のメーカー・品番等について、当社営業窓口までお問い合わせください。

2 技術仕様

表 1. 本装置のハードウェア仕様

| 分類 | 項目 | 内容 |
|----------|----------------|--------------------------------------|
| 基本仕様 | CPU | A133 QUAD-CORE ARM CORTEX-A53 1.6GHz |
| | メモリ | 2GB DDR3 |
| | Nand Flash メモリ | 8GB eMMC |
| | OS | Android 10.0 |
| 画面性能 | サイズ | 8 インチ |
| | 解像度 | 1280 * 800 |
| | パネル種類 | IPS |
| 電源 | 給電方式 | DC12V 2A ACDC 電源ユニット |
| | 消費電力 | ≤15W |
| イーサネット | 有線 | RJ45 100M 高速 LAN 1 ポート |
| | 無線 | WIFI6, 2.4G, 5G |
| インターフェイス | Bluetooth | Bluetooth BT5.0 |
| | USB | Type-c |
| | スピーカー | 1.5W 内蔵スピーカー |
| | 使用温度 | -10℃~60℃ |
| 環境 | 保存温度 | -20℃~70℃ |
| | 周囲湿度 | 90%以下 (ただし結露なきこと) |
| | サイズ | 195 × 130 × 18 (mm) |
| | 重量 | 約 1kg |
| 外観 | 外箱材質 | アルミニウム合金 |
| | 色 | 白 |

表 2. 本装置のソフトウェア仕様とアプリケーション機能

| 分類 | 項目 | 内容 |
|-----------------|-------------------|--|
| 通信 プロトコル | イーサネット | TCP/UDP, Modbus TCP, FTP, HTTP/HTTPS |
| | 暗号化通信 | SSL/TLS |
| | メールサーバー | SMTP |
| | 時刻合わせ | NTP |
| アプリケーション機能 ※ | 計測データ収集機能 | イーサネット経由で Modbus TCP 通信でパソコン本体又はそのコントローラーからパソコン、蓄電池及び電力計の発電・充放電・売電・買電データを 5~30 秒間隔で自動収集する。 |
| | 発電設備の状態監視機能 | パソコン、蓄電池の運転モード、故障状態を上記同様の通信で取得し、履歴保存する。 |
| | 発電設備のパラメータ設定、制御機能 | パソコン、蓄電池の運転モード、上下限值等各種パラメータを本装置の設定画面から設定、操作できる。 |
| | タッチパネル画面表示機能 | パソコン、蓄電池の発電、充放電、電力系統との売電・買電および消費電力データ（現在と過去履歴）をタッチパネル画面に表示する。パソコン故障検出時に画面上のアイコン色でアラートする。 |
| | データ保存機能 | 各種計測データや監視対象機器状態の履歴データを最低 2 年分保存する。 |
| | 上位システム送受信 | 上位システムとの連系が必要な場合、上記各種データや故障アラートを上位システムに送信することが可能である。 |

※アプリケーション機能は、適用先システムの要求仕様により標準基本ソフトの上でカスタマイズ開発を行う必要があります。詳細について、「住宅太陽光発電モニター画面仕様書」をご参照ください。

※各設定値の意味や設定方法について、パソコンメーカーのガイダンスをご参照ください。不明点があれば、パソコンメーカーのコールセンターにお問合せ下さい。

3 本装置の外観とインターフェイス

3.1 外観イメージ

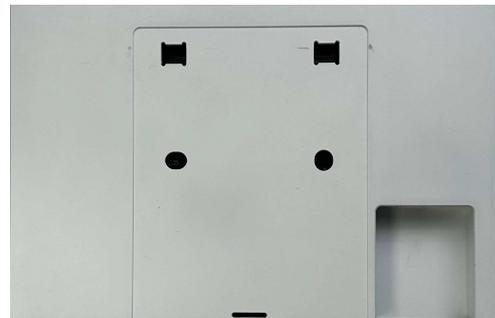
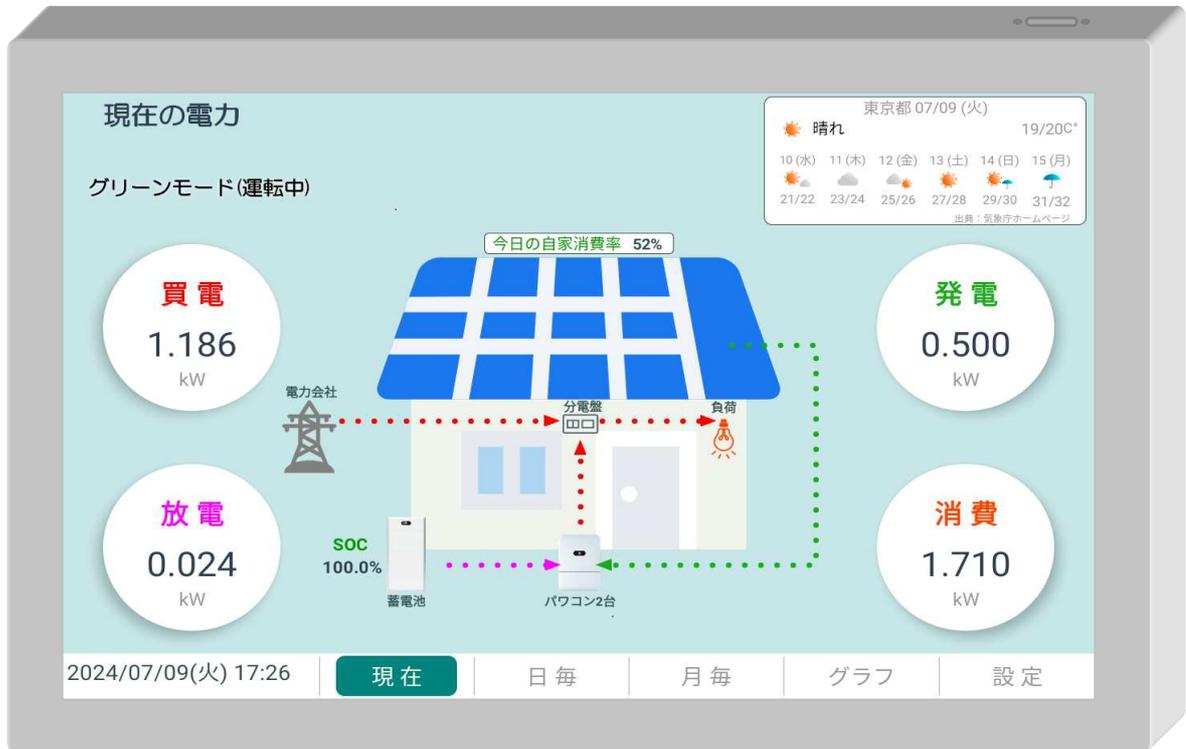
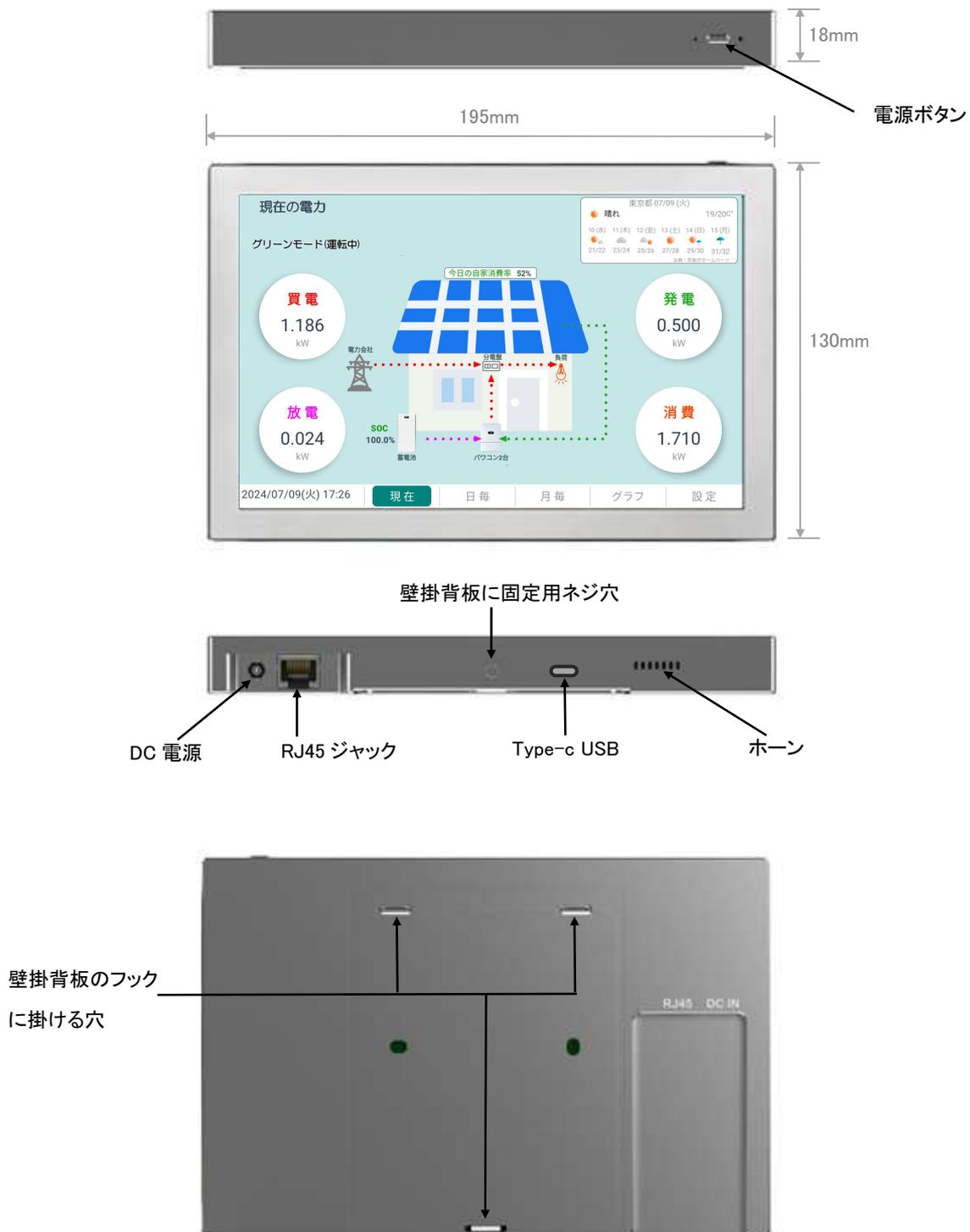


図 3-1 本装置の外観イメージ図

※画面のデザインや色は実物と異なることがあります。

3.2 寸法と外部インターフェイス



4 標準付属品

(1) 卓上置き用スタンド



図 4-1 卓上置き用スタンド

(2) 壁掛用背板



図 4-2 壁掛用背板

(3) DC12V 電源アダプター



図 4-3 DC12V 電源アダプター

5 品質保証

保証

弊社が納入した「住宅太陽光発電モニター」本体及び付属品につきまして、保証期間内に正常な使用状態で故障した場合、無償で修理または交換をいたします。

保証期間

保証期間は使用開始日から1年間です。ただし、使用開始日の期限は納品後2年以内といたします。

保証規則

- 保証対象とする故障の内容は、ハードウェアとソフトウェアの全般とします。
- 交換品は弊社から代理店事務所又はユーザー自宅まで無料で送付し、故障品は着払いで弊社まで返送いただきます。
- 交換品は原則2週間以内に送付しますが、備品在庫のない場合、時間がかかることもありますので、予めご了承ください。

免責事項

- 運送中に発生した損傷
- 不適切な設置
- ご使用上の誤り(取扱説明書以外の誤操作等)により生じた故障
- 火災、天災、地変、落雷、異常電圧等による故障
- 本文書で規定されていない過酷な環境下での稼働
- 許可のない本製品の改造、およびソフトウェアの改変
- 保管上の不備や、手入れの不備による故障

弊社連絡先

アディンクス株式会社
神戸市中央区磯辺通4丁目1-8 ITCビル 601号
TEL (078)252-7715 FAX (078)252-7716
メール contact@adincs.com

付録1 本装置の壁掛取付方法

【ステップ1】 背板を壁に固定

背板左右両側のネジ穴にネジを入れ、背板を壁に固定します。ネジは施工業者様にご用意頂きます。サイズ選択の要件は以下になります。

ネジ本体直径は5mm以下、頭部は6～9mm、長さは5mm+壁に入る部分（参考：M3ネジ）

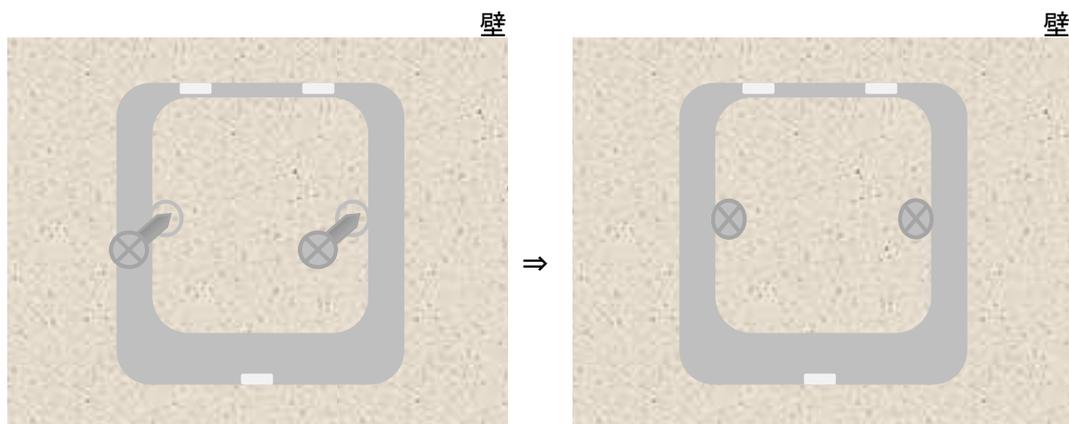


図 5-1 背板を壁に固定させる方法

【ステップ2】 装置本体のLANと電源ケーブルを接続

LANと電源のケーブルを装置本体背面のRJ45ジャックとDC INに差します。

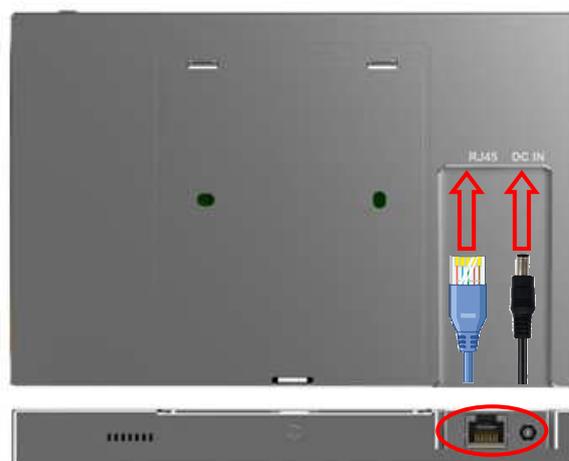


図 5-2 装置本体の接続方法

【ステップ3】 装置本体を背板に固定

- ② 壁に固定された背板の3つのフックに装置本体背面の穴にはめ込みます。
- ② 背板を本体底面のネジ穴に同梱のネジで固定します。



図 5-3 装置本体を背板に固定する方法

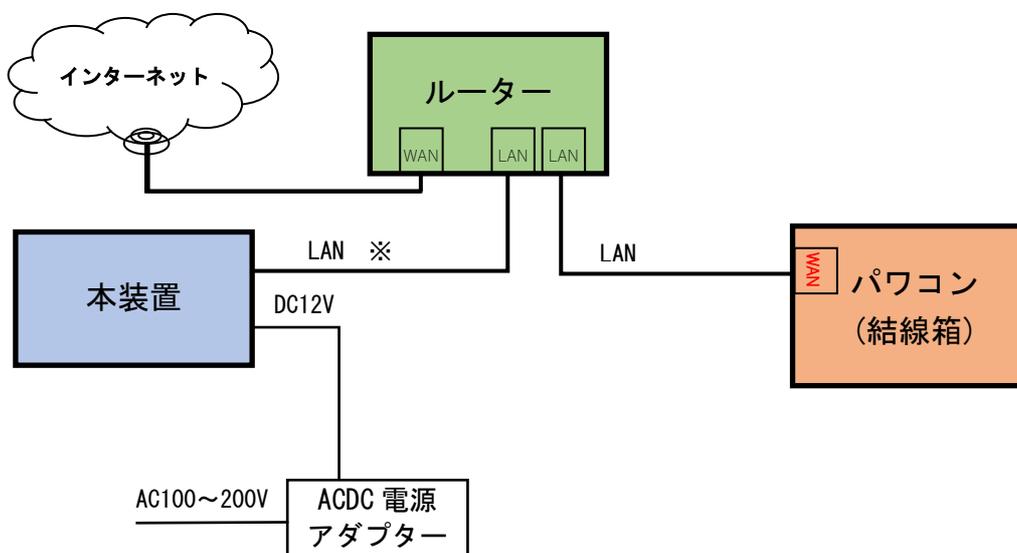
付録2 本装置とパソコンの接続方法

以下に本装置とパソコンとの接続方法について、説明します。

(1) パソコンとルーター経由で接続（接続方式1）

ルーターに空き LAN ポートが2つ以上ある場合、パソコンと本装置両方とも有線 LAN ケーブルで下図のようにルーターの LAN ポートに接続します。

- ・ルーターに空き LAN ポートが足りない場合、ルーターの前に HUB を追加してください。
- ・LAN ケーブルの配線が困難な場合、WIFI 通信を利用することもできます。



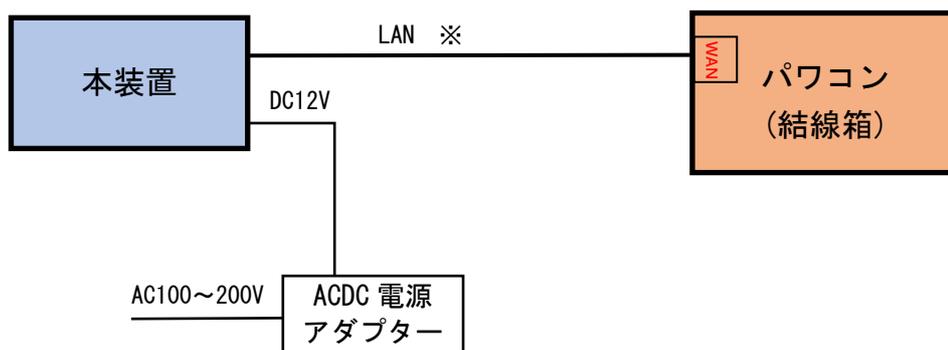
※本装置は内蔵の WIFI でルーターと接続することも可能です。その場合、本装置の設定画面の「WIFI 設定」ボタンを押下してルーターの SSID とパスワードを設定します。ただし、WIFI 電波強度の確認は施工業者様の責任で行ってください。設定画面の詳細について、「住宅太陽光発電モニター画面仕様書」をご参照ください。

図 6-1 パソコンとルーター経由接続の接続図

(2) パソコンと直接接続（接続方式2）

使用できるルーターがない場合だけ、本装置の LAN ケーブルをパソコンの WAN ポートに直接接続します。

ただし、この接続方式では本装置の時刻校正がインターネットにより自動的に行えないため、ユーザー様が定期的に時刻修正を手動で行う必要があります。



※注意：本装置とパソコンの間には、直接 WIFI で接続することはできません。

図 6-2 パソコンと直接接続の接続図

付録3 本装置のアプリ更新について

本装置のアプリ（アプリケーションソフトウェア）はプリインストールで出荷されます。出荷後にアプリ更新が必要な場合、インターネット経由で自動的に行われます。

ただし、パソコンと直接接続（接続方式2）の場合、アプリ更新はできません。

以上